

# 鹿児島県茶産地における 組織的なGAP普及の取組み



JA鹿児島県経済連

農産事業部 肥料農薬課 清水洋之

## 鹿児島県JAグループによる 茶GAP普及の支援状況

GAP認証取得支援 **68茶工場(402農場 2,050ha [24%])**

JGAP : 67茶工場(366農場 1,900ha)

GLOABL G.A.P : 1茶工場(36農場 150ha)

※ 参考 鹿児島県茶生産状況(平成28年度)

茶工場数 : 506茶工場

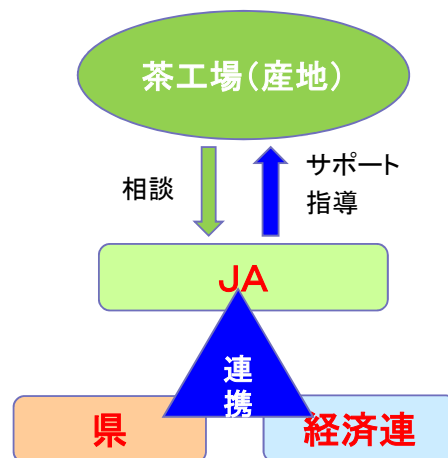
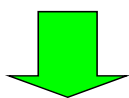
栽培面積 : 8,520ha

生産量 : 24,600トン

## 茶GAP普及支援の組織的取組み

2009年 GAP認証指導スタート(JGAP 1茶工場)  
しばらく少数茶工場のサポートが続く

2014年 JGAP認証取得を希望する茶工場の増加  
(JA、県地域振興局へ多数相談)  
地域ごとに組織的な対応が必要



JA(営農指導員)、県(普及員)、経済連(肥料農薬課)  
による連携した普及指導、相談体制づくり

## 茶工場(産地)へのGAP導入の取組み

茶工場(産地)からのGAP導入相談

茶産地・茶工場(産地)を対象としたGAP導入研修

GAP導入を円滑に進めるためのモデル手順書や各種帳票の作成

茶工場(産地)ヒアリングによるモデル手順書・帳票の修正

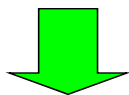
各茶工場に所属する農場(系列農家・組合員)への説明

内部監査(自己点検)対応および不適合項目の是正対応のアドバイス

認証機関審査による不適合項目への是正対応のアドバイス

# GAP導入相談に対する 茶産地・茶工場（産地）を対象とした研修

GAPに対する理解  
取組み・認証取得判断の情報提供



取得希望者自らの判断で決定  
(GAP認証の取得や種類など)

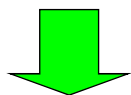
※ 我々はサポート役に徹する



## 円滑なGAP普及に対するモデル手順書・帳票

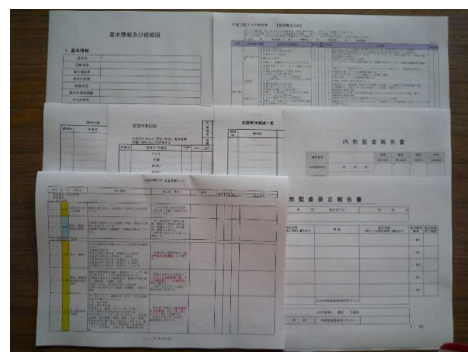
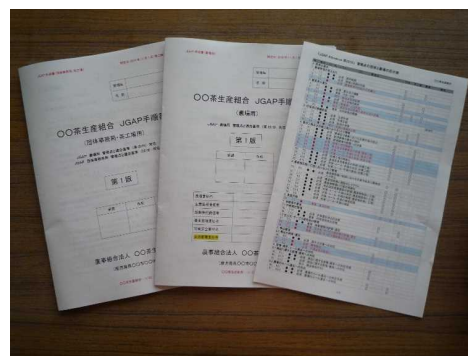
管理点と適合基準だけみたら、  
かなり難しそうにみえる

(これは、指導する側も同じ)



モデル手順書、帳票類の作成

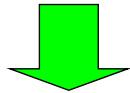
わかりやすい表現や様式  
(指導する側の内容理解)



# 茶工場(産地)ヒアリングによる手順書の修正

モデル手順書や帳票類は  
あくまでモデルでしかない！

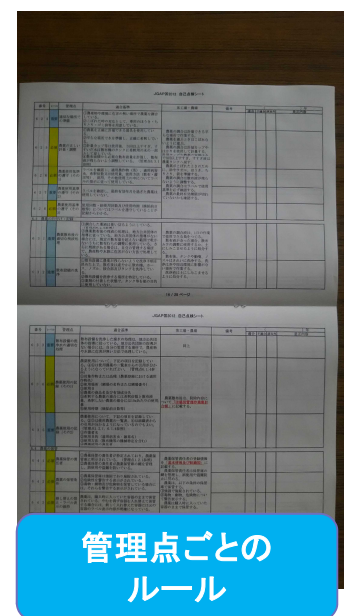
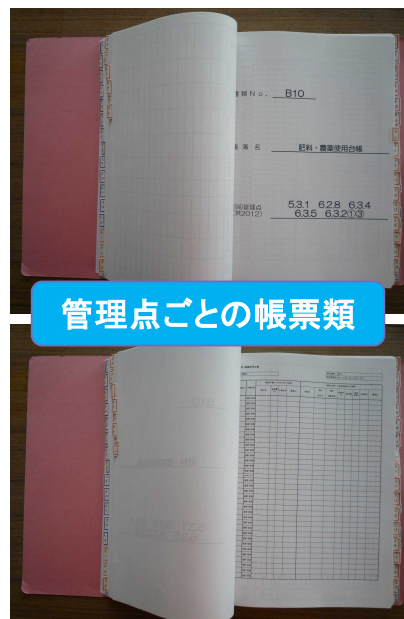
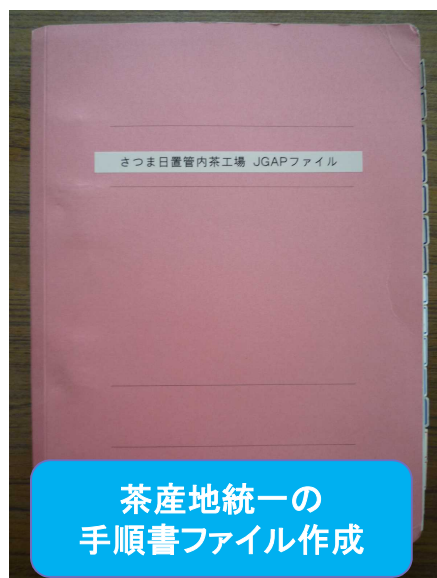
茶工場ごとに役割や手段が異なる



**茶工場(産地)ヒアリングの実施**  
**モデル手順書、帳票のカスタマイズ**

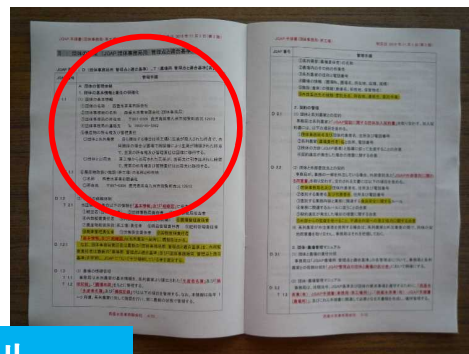
自分たちのルールづくり  
使いやすい書類・様式

## 個別認証向け茶工場(産地)の手順書



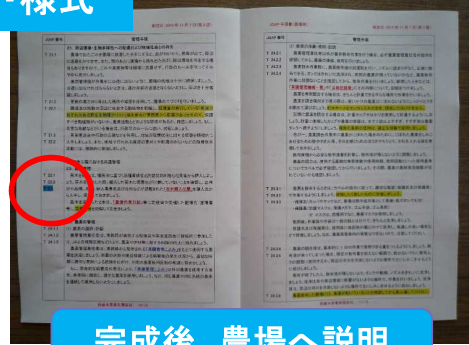
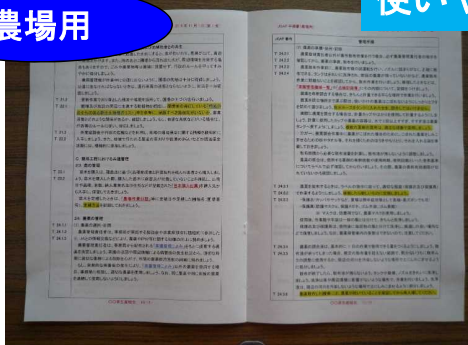
# 手順書や帳票は誰が使うのか？

団体用



自分たちのルール  
使いやすい書類・様式

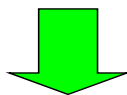
農場用



完成後、農場へ説明

## 内部監査対応、不適合項目の是正アドバイス

組織内の内部監査員との連携  
(JA営農指導員、県普及員、  
経済連 肥料農薬課職員)  
不適合項目の是正アドバイス指導



**内部監査員育成費用の負担軽減**  
**組織内の内部監査員の育成**

※ 是正アドバイス指導は  
認証機関審査後も実施



# GAP管理点を活用した生産性向上の取組み

## 土壌診断に基づく施肥指導

土壌診断：県地域振興局（普及員による分析）  
経済連土壌診断センター（H28 10,475点）  
結果説明、土づくり・施肥に関する研修  
茶工場ごとの施肥指導：年間統一施肥設計の作成

⇒ 肥料管理責任者の育成、負担軽減（農場の研修対応）

## 病虫害・農薬・IPM・残留農薬に基づく防除指導

病虫害や農薬、IPM、残留農薬に関する研修  
茶工場ごとの防除指導：年間防除設計の作成  
残留農薬検査：経済連 食品総合研究所  
（H28 ISO17025取得）

⇒ 農薬管理責任者の育成、負担軽減（農場の研修対応）

# GAP認証取組みの周知

## 鹿児島県茶市場

「GAP認証取得茶工場リスト」の掲示

⇒ 荒茶購買者（茶商）などへの周知

茶工場や荒茶購買者（茶商）への

GAP取組みの説明や研修対応

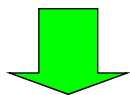
⇒ GAPに対する理解、周知



# ASIAGAP導入に向けた取組み

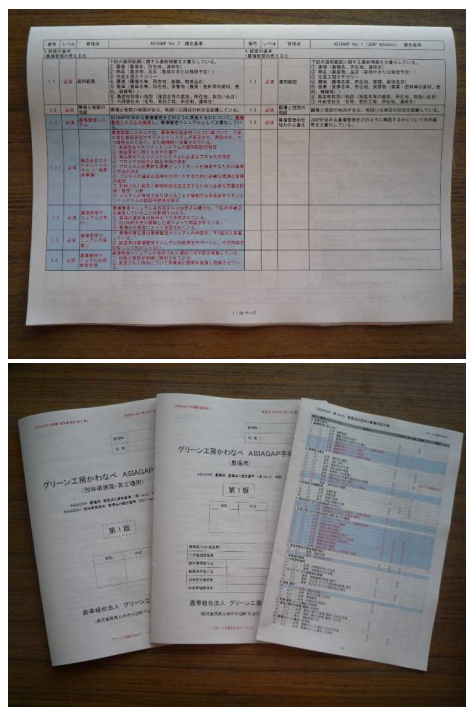
ASIAGAP Ver.1 と ver.2の比較  
変更点の共通理解

モデル手順書、帳票類の作成



モデル茶工場による取組み

茶工場指導のベース内容作成  
指導者間での新たな情報共有



## 茶産地でのGAP普及が上手くできたポイント

JA、県、経済連の連携したGAP普及・指導体制

茶工場(産地)が相談しやすい環境づくり  
認証取得費用・作業の負担軽減

モデル手順書・帳票類の作成と茶工場にあわせた修正

指導サイドの内容理解、指導内容の平準化  
茶工場ごとの実態にあわせた無理のないルールづくり

内部監査・本審査での不適合項目・是正内容の情報共有

指導者間での情報共有化、指導への反映  
県・地域での取組み改善、レベルアップ



## 今後検討しているGAPの取組み

### GAP活用による本県農業の発展、生産者の所得向上

食の安全、環境保全、労働安全の向上

生産者の所得向上

### 実需者ニーズに対応した農産物生産に向けたGAPの普及

価値を共有できる実需者との連携

輸出、東京オリンピック・パラリンピックなどへの対応検討

### 本GAP普及活動を活用した他作物（穀物、青果物）の取組み

穀物・青果物での取組み体制づくり



ご清聴ありがとうございました